

科目名	医用治療機器学 I			授業の種類	講義演習	講師名		
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	担当学年 時期	3年	前期
【授業の目的・ねらい】								
1. 臨床工学講座 医用治療機器学 第2版の内容理解 2. 医療治療機器学実習および医療治療機器学Ⅱへのスムーズな導入								
【実務者経験】								
臨床工学技士としてツカザキ病院にて医療機器安全管理業務等に従事経験。								
【授業全体の内容の概要】								
1. 教科書を軸に、配布資料やパワーポイントを使用 2. 授業中は学生へ質問を多くし、意見を傾聴								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】								
1. 将来の臨床工学技士として、携わる可能性がある様々な医用治療機器の知識の習得 2. そのための着眼点や考え方を事例を通して理解								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	医用治療機器学 I の進め方、 1. 治療の基礎							
2	2. 電磁気治療機器 (1)電気メス①							
3	2. 電磁気治療機器 (1)電気メス② / (2)マイクロ波手術装置							
4	2. 電磁気治療機器 (3)除細動器							
5	2. 電磁気治療機器 (4)心臓ペースメーカ							
6	2. 電磁気治療機器 (5)カテーテルアブレーション装置 / 小テスト①							
7	小テスト①解説 / 3. 機械的治療機器 (1)吸引器 / (2)結石碎石装置							
8	3. 機械的治療機器 (3)心血管系インターベンション装置							
9	3. 機械的治療機器 (4)輸液ポンプ (シリンジポンプ)							
10	4. 光治療機器 (1)レーザ手術装置							
11	5. 超音波治療器 (1)超音波吸引手術装置 / (2)超音波凝固切開装置							
12	6. 内視鏡 (1)内視鏡							
13	6. 内視鏡 (2)内視鏡外科手術器							
14	7. 熱治療機器 (1)冷凍手術器 (2)ハイパーサーミア装置							
15	小テスト② / 小テスト②解説 / まとめ							
定期筆記試験								
【使用教科書・教材・参考書】								
・臨床工学講座 医用治療機器学、篠原一彦 ほか、医歯薬出版株式会社								
【準備学習・時間外学習】								
・事前に教科書を読んで講義に臨むこと ・講義後は板書とメモと教科書を用い、要点をまとめること ・ME2種や国家試験の過去問にも積極的に取り組むこと								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】								
試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テスト15点を2回、定期試験を70点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する								